

学校運営協議会 だより

～地域の子どもを 地域の力で～

新年度がスタートして、早くも3ヶ月が過ぎようとしています。村内の教育関係施設においては、日々、充実した教育活動が営まれています。これまでも小学校での運動会。また中学校では、県南地域と石川郡の中学生が出場して中体連が行われました。日々の取り組みの成果をしっかりと発揮するために大きな声援、それを受けて精一杯に活動する子どもたちの姿を様々な場面で見る事ができました。地域のみなさまにもご覧いただくことができたのではないのでしょうか。

さて、本村の小中学校では、地域と連携した学校教育の推進のために、地域の方や事業主の方、そして、学校や機関の職員のみなさまによる学校運営協議会を構成しています。(学校運営協議会を設置している学校のことをコミュニティスクールといいます。)

先日、小中学校の運営協議会委員のみなさまにお集まりいただき連絡協議会が開催されました。学校と子どもたちをめぐる諸課題に対処するための意見交換(熟議)を行いました。

熟議テーマは、「子どもたちに身につけさせたい力」～そのために、家庭、地域、学校ができること～

短い時間でしたが、熱のこもった意見交換となりました。熟議は、3つの班に分かれて行いました。委員のみなさまがそれぞれにどんな力を身につけさせたいか付箋紙に記入し、その後、発表し合いました。発表だけで終わらずに、参加したみなさんの立場で、できることは何かを明らかにする話し合いを持ちました。



発表だけで終わらずに、参加したみなさんの立場で、できることは何かを明らかにする話し合いを持ちました。

育みたい力は：「思いやりの心」や「命を大切に大切にする心」「目標を持ってあきらめない心」などあげられました。いずれも大切なことです。発表の過程では、現実の子どもたちの姿や大人の言動についても話題となりました。いずれの意見にも共通していたことは、やはり大人が目的と目標を持って行動する姿を見せるということでした。これからは、子どもたちのために大人が本気になって協力すること、そして行動に移すことということが大切ではないかと思いました。



具体的な取り組みとして、地域の人との交流の機会を設けること、例えば、クリーンアップや花植を子どもたちといっしょにできないかという意見や地域全体であいさつをすること、そして大人がコミュニケーションする姿を見せることが求められているという意見が多くあったように思います。ご家庭では、食事の支度をいっしょにすることや子どもの話をたくさん聞く、そして、子どもたちが、自分の思っていることを自分の言葉で言えるようになってほしいという思いが伝わる場面でした。

今後は、各学校においてそれぞれの学校の運営協議会が運営されます。今回の意見交換を元に一つ一つ課題に取り組んでまいります。

